

## 第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

## 第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

### 1. 基本的事項

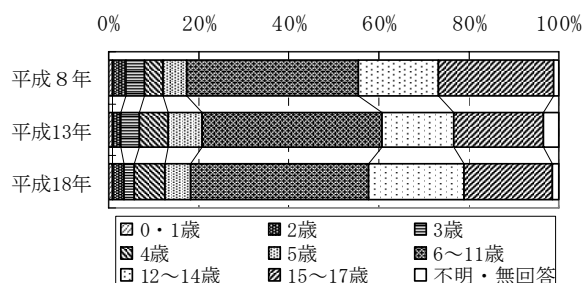
#### (1) 年齢

##### 問1 お子さんの年齢は満何歳ですか。

- ・ 今回調査では、「6～11歳」が39.8%と最も多く、次いで「12～14歳」が20.9%、「15～17歳」が19.7%、「6歳未満」が18.0%となっており、小学校期の年齢層が多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて、「12～14歳」の層が増加している。

問1 年齢

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
0・1歳	0.7	0.7	0.6
2歳	3.0	2.0	2.6
3歳	4.4	4.2	2.6
4歳	3.9	6.4	6.5
5歳	5.4	7.4	5.7
6～11歳	38.1	40.1	39.8
12～14歳	17.6	15.7	20.9
15～17歳	25.7	20.1	19.7
不明・無回答	1.2	3.5	1.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



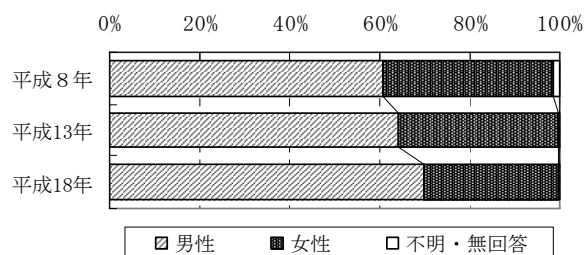
#### (2) 性別

##### 問2 お子さんの性別をお答えください。

- ・ 今回調査では、「男性」が69.7%、「女性」が30.0%となっており、「男性」の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、「男性」の比率が高くなる傾向が見られる。

問2 性別

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
男性	60.6	64.0	69.7
女性	37.8	35.8	30.0
不明・無回答	1.6	0.2	0.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



(3) 世帯の人数

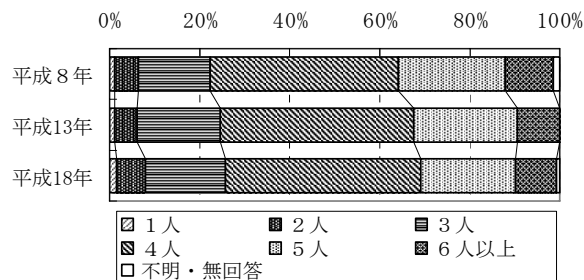
問3 お子さんの世帯の人数は何人ですか。お子さん自身も含めてお答えください。

- ・ 今回調査では、「4人」が43.2%、「5人」が21.2%、「3人」が17.8%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて大きな変化は見られない。

問3 世帯の人数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1人	1.1	1.3	1.7
2人	5.4	4.8	6.3
3人	15.6	18.4	17.8
4人	42.2	43.0	43.2
5人	23.6	22.9	21.2
6人以上	10.7	9.5	8.8
不明・無回答	1.4	0.0	0.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



(4) 世帯の生計中心者

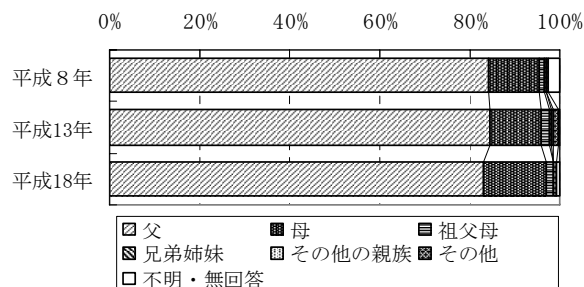
問4 お子さんの世帯で主に家計を支えている方（生計中心者）はどなたですか。お子さんからの続柄でお答えください。

- ・ 今回調査では、「父」が83.1%、「母」が14.0%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて大きな変化は見られない。

問4 世帯の生計中心者

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
父	84.2	84.6	83.1
母	11.4	11.2	14.0
祖父母	0.9	2.0	1.2
兄弟姉妹	0.5	0.3	0.2
その他の親族	0.0	0.2	0.0
その他	0.5	1.3	0.9
不明・無回答	2.5	0.3	0.6
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



## 2. 障害の種類・程度・内容

### (1) 療育手帳の判定

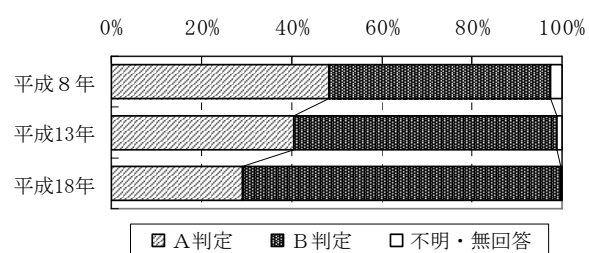
問5 療育手帳の判定は次のうちどちらですか。

- ・ 今回調査では、「A判定」が29.2%、「B判定」が70.3%となっている。

問5 療育手帳の判定

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
A判定	48.2	40.5	29.2
B判定	49.4	58.4	70.3
不明・無回答	2.5	1.2	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650.0



(2) 合併症の状況

問6 お子さんの合併症の状況についておたずねします。合併症がある場合、次の項目のうちから主な障害を2つまでお答えください。（合併症のない方は、20の番号をお答えください。）

- ・ 今回調査では、「自閉症又は自閉的傾向」や「てんかん」などの「その他」の比率が72.3%と最も高く、次いで「合併症はない」が31.7%と続いており、それ以外の項目は10%未満となっている。
- ・ 経年的には、「聴覚障害」、「肢体不自由」の比率は減少しており、「その他」の比率は増加している。

問6 合併症の状況（複数回答2）

（単位：%）

障害の種類	主な障害	平成8年	平成13年	平成18年
視覚障害	視覚	13.7	4.8	4.5
聴覚障害	聴覚・言語	13.0	1.8	1.1
	聴覚・平衡	0.5	0.2	0.5
	音声・言語・そしゃく	11.8	11.5	7.4
肢体不自由	片上肢	0.4	0.5	0.2
	両上肢	0.2	1.8	1.1
	片下肢	0.4	0.2	0.2
	両下肢	1.6	2.0	0.6
	片上下肢	1.8	0.8	0.2
	四肢	7.2	4.8	0.6
	脳性マヒ	8.4	—	—
内部障害	心臓	8.1	7.5	4.0
	じん臓	1.1	0.2	0.5
	呼吸器	0.4	0.7	0.5
	ぼうこう・直腸	0.5	1.3	0.3
	小腸	0.2	0.2	0.2
その他	自閉症又は自閉的傾向	18.8	26.6	44.9
	情緒障害	7.2	6.0	6.3
	てんかん	15.6	15.7	11.4
	その他	7.0	9.5	9.7
合併症はない		22.8	33.6	31.7
不明・無回答		4.7	3.5	2.8
合計		145.3	133.4	128.3
N		827	798	650

(3) 身体障害者手帳等の有無

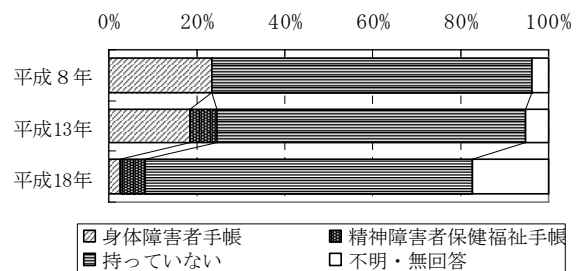
問7 お子さんは、次の手帳をお持ちですか。

- ・ 今回調査では、「持っていない」が74.6%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が5.5%、「身体障害者手帳」が2.6%となっている。
- ・ 前回調査と比べて、「身体障害者手帳」の比率が大幅に低下している。この変動には、今回調査において「不明・無回答」の比率が、大きく増加していることの影響もあると考えられる。

問7 身体障害者手帳等の有無

(単位:%)

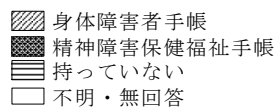
	平成8年	平成13年	平成18年
身体障害者手帳	23.6	18.6	2.6
精神障害者保健福祉手帳	—	6.0	5.5
持っていない	72.6	70.2	74.6
不明・無回答	3.9	5.2	17.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



- ・ 療育手帳の判定別では、身体障害者手帳等の有無にあまり違いは見られない。

問5 療育手帳の判定 × 問7 身体障害者手帳等の有無

療育手帳の判定	(件)	(%)	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳	持っていない	不明・無回答
1. A判定	190	29.2	73.7	17.9		
2. B判定	457	70.3	75.1	16.8		
不明・無回答	3	0.5				
回答者総数	650	100.0	74.6	17.2		



(4) 身体障害者手帳の障害の種類

問8-1 「問7」で「1. 身体障害者手帳をもっている」とお答えの方) お子さんの身体障害者手帳について、その主な障害部位を1つだけ、「問6」で分類してある1～20の項目から選んでお答えください。なお、「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害」の場合は21の番号をお答えください。

- ・ 今回調査においては、該当者数が17人と少ないが、比率としては「その他」が23.6%、「肢体不自由」が17.7%、「視覚障害」と「聴覚障害」が5.9%となっている。
- ・ 前回調査と比べて、「不明・無回答」の比率が大幅に増え、「肢体不自由」や「内部障害」の比率が大きく減少している。

問8-1 身体障害者手帳の障害の種類

(単位:%)

障害の種類	主な障害	平成8年		平成13年		平成18年	
視覚障害	視覚	0.7	0.7	2.7	2.7	5.9	5.9
聴覚障害	聴覚・言語	5.2	8.9	0.9	3.6	0.0	5.9
	聴覚・平衡	0.7		1.8		0.0	
	音声・言語・そしゃく	3.0		0.9		5.9	
肢体不自由	片上肢	0.7	52.1	0.0	48.6	5.9	17.7
	両上肢	0.7		0.9		0.0	
	片下肢	0.7		0.9		0.0	
	両下肢	3.0		14.4		0.0	
	片上下肢	3.7		1.8		0.0	
	四肢	23.9		30.6		11.8	
	脳性マヒ	19.4		—		—	
内部障害	心臓	11.9	13.3	13.5	13.5	0.0	0.0
	じん臓	0.0		0.0		0.0	
	呼吸器	0.0		0.0		0.0	
	ぼうこう・直腸	0.7		0.0		0.0	
	小腸	0.7		0.0		0.0	
その他	自閉症又は自閉的傾向	—	11.2	1.8	18.9	11.8	23.6
	情緒障害	—		0.9		0.0	
	てんかん	—		2.7		0.0	
	その他	11.2		13.5		11.8	
	免疫	—		0.0		0.0	
	合併症はない	3.7		0.9		5.9	
	不明・無回答	9.7		11.7		41.2	
	合計	100.0		100.0		100.0	
	N	134		111		17	

(5) 身体障害者手帳の等級

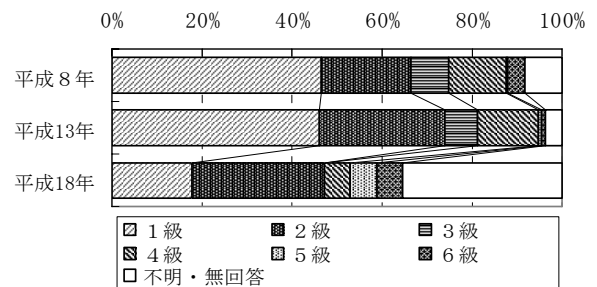
問8-2 「問7」で「1. 身体障害者手帳をもっている」とお答えの方) お子さんの身体障害者手帳の等級（障害の程度）は何級ですか。身体障害者手帳を見てお答えください。

- ・ 今回調査では、「2級」が29.4%で最も多く、次いで「1級」が17.6%などとなっている。
- ・ 経年的には、「1級」と「4級」の比率が大きく低下している。

問8-2 身体障害者手帳の等級

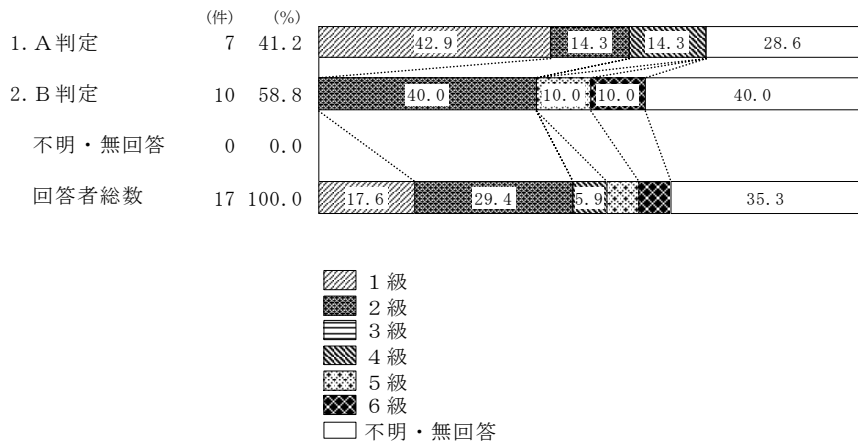
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1級	46.3	45.9	17.6
2級	20.1	27.9	29.4
3級	8.2	7.2	0.0
4級	12.7	13.5	5.9
5級	0.7	0.9	5.9
6級	3.7	0.9	5.9
不明・無回答	8.2	3.6	35.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	134	111	17



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」の場合は「1級」の比率が高く、「B判定」では「2級」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問8-2 身体障害者手帳の等級





### 3. 生活の状況

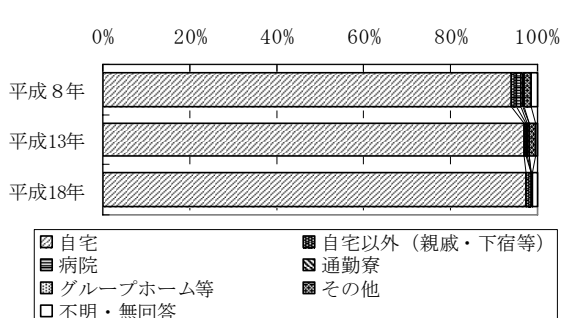
#### (1) 居住場所

**問9 お子さんが今、お住まいの場所を1つお答えください。**

- ・ 今回調査では、「自宅」が97.2%で最も多くなっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問9 居住場所

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
自宅	94.0	97.0	97.2
自宅以外（親戚・下宿等）	1.2	0.3	1.1
病院	1.1	0.5	0.0
通勤寮	0.4	0.2	0.0
グループホーム等	0.2	0.3	0.0
その他	1.6	1.2	0.6
不明・無回答	1.6	0.5	1.1
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



(2) 日常生活動作（IADL）の状況

問10 お子さんの日常生活の動作についておたずねします。お子さんは、次の(1)～(7)までの日常生活の動作をお一人でできますか。次の各動作ごとにいずれか1つを選んでお答えください。（この場合、「できる」、「できない」の判断は現に所持している補装具や自助具をつけた状態で判断してください。）

1. 介助の必要なし 2. 一部介助が必要 3. 全部介助が必要

- (1) 食事をする
- (2) トイレに行く
- (3) お風呂に入る
- (4) 服を脱ぐ・着る
- (5) 家の中を移動する
- (6) 階段を昇り降りする
- (7) 寝返りをする

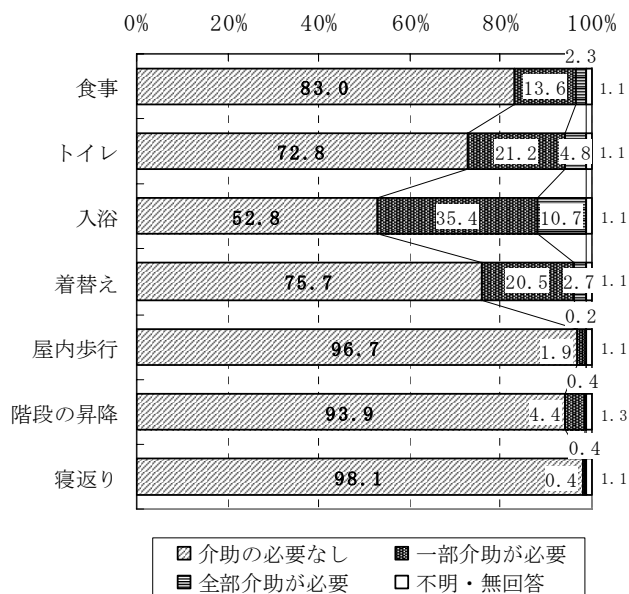
- ・ 日常生活動作（IADL）の中で「何らかの介助が必要」（一部介助が必要+全部介助が必要）とする子ども（6歳以上）の割合が高いものは、「入浴」で46.1%、次いで「トイレ」が26.0%、「着替え」が23.2%、「食事」が15.9%などと続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「介助の必要なし」の比率は、「食事」、「トイレ」、「着替え」、「屋内歩行」、「階段の昇降」、「寝返り」において増加している。
- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」の方が介助の必要性が高く表れている。

問10 日常生活動作の状況（6歳以上）

（単位：%）

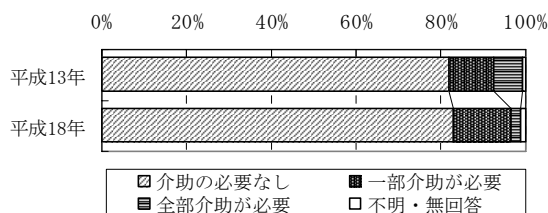
	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		寝返り	
介助の必要なし	83.0		72.8		52.8		75.7		96.7		93.9		98.1	
一部介助が必要	13.6	15.9	21.2	26.0	35.4	46.1	20.5	23.2	1.9	2.1	4.4	4.8	0.4	0.8
全部介助が必要	2.3		4.8		10.7		2.7		0.2		0.4		0.4	
不明・無回答	1.1		1.1		1.1		1.1		1.1		1.3		1.1	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
N	523		523		523		523		523		523		523	

第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果



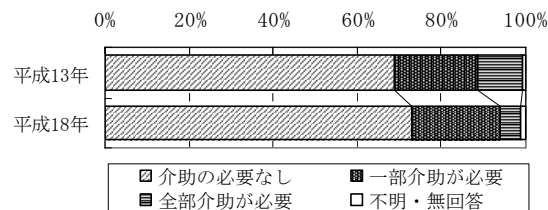
問10(1) 日常生活動作の状況（食事）：6歳以上  
(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	81.9	83.0		
一部介助が必要	10.4	13.6	17.4	15.9
全部介助が必要	7.0	2.3		
不明・無回答	0.7	1.1		
合計	100.0	100.0		
N	454	523		



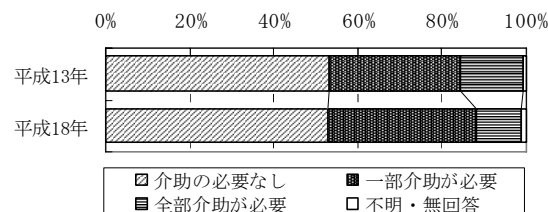
問10(2) 日常生活動作の状況（トイレ）：6歳以上  
(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	68.9	72.8		
一部介助が必要	19.6	21.2	30.4	26.0
全部介助が必要	10.8	4.8		
不明・無回答	0.7	1.1		
合計	100.0	100.0		
N	454	523		



問10(3) 日常生活動作の状況（入浴）：6歳以上  
(単位:%)

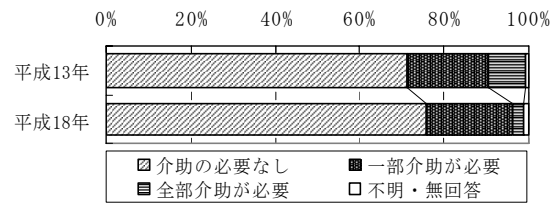
	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	53.3	52.8		
一部介助が必要	31.1	35.4	45.9	46.1
全部介助が必要	14.8	10.7		
不明・無回答	0.9	1.1		
合計	100.0	100.0		
N	454	523		



第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

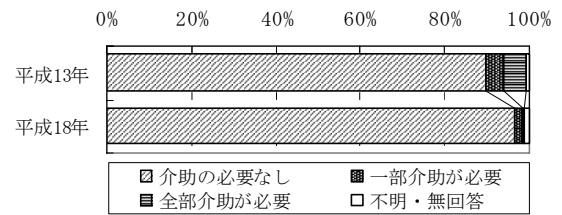
問10(4) 日常生活動作の状況（着替え）：6歳以上  
(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	71.1		75.7	
一部介助が必要	19.4	28.2	20.5	23.2
全部介助が必要	8.8		2.7	
不明・無回答	0.7		1.1	
合計	100.0		100.0	
N	454		523	



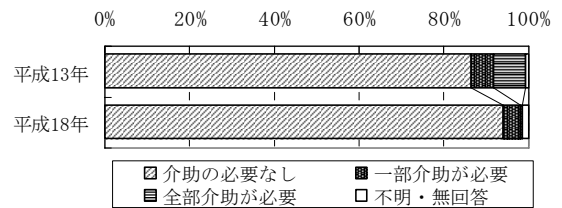
問10(5) 日常生活動作の状況（屋内歩行）：6歳以上  
(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	89.6		96.7	
一部介助が必要	4.2	9.5	1.9	2.1
全部介助が必要	5.3		0.2	
不明・無回答	0.9		1.1	
合計	100.0		100.0	
N	454		523	



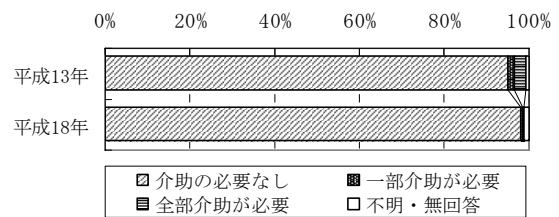
問10(6) 日常生活動作の状況（階段の昇降）：6歳以上  
(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	86.3		93.9	
一部介助が必要	5.3	13.0	4.4	4.8
全部介助が必要	7.7		0.4	
不明・無回答	0.7		1.3	
合計	100.0		100.0	
N	454		523	



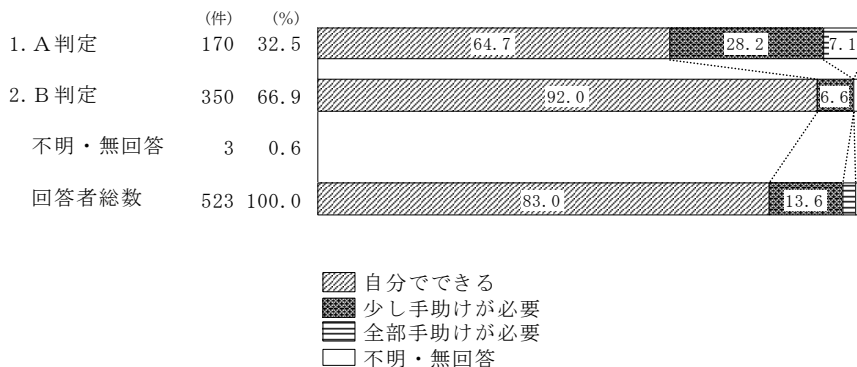
問10(7) 日常生活動作の状況（寝返り）：6歳以上  
(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	95.2		98.1	
一部介助が必要	1.3	3.9	0.4	0.8
全部介助が必要	2.6		0.4	
不明・無回答	0.9		1.1	
合計	100.0		100.0	
N	454		523	

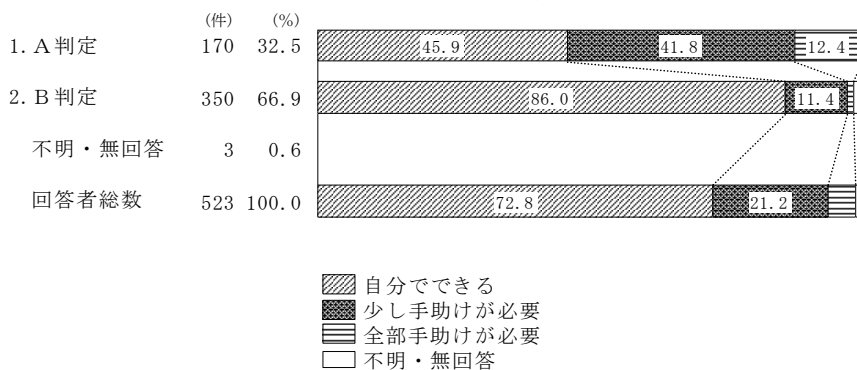


第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

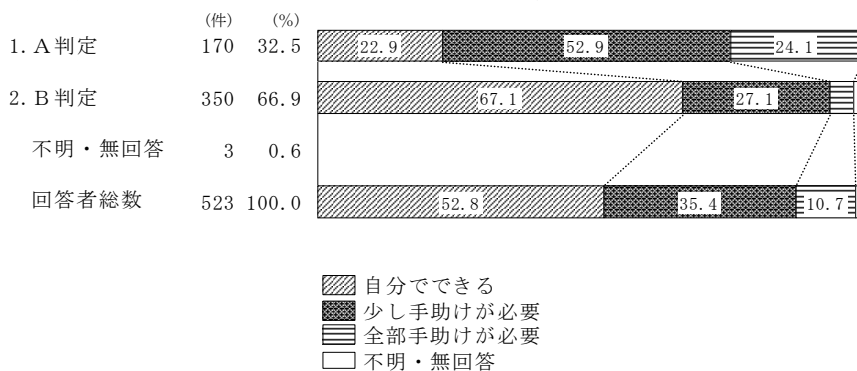
問5 療育手帳の判定 × 問10(1) 日常生活動作の状況（食事）〈6歳以上〉



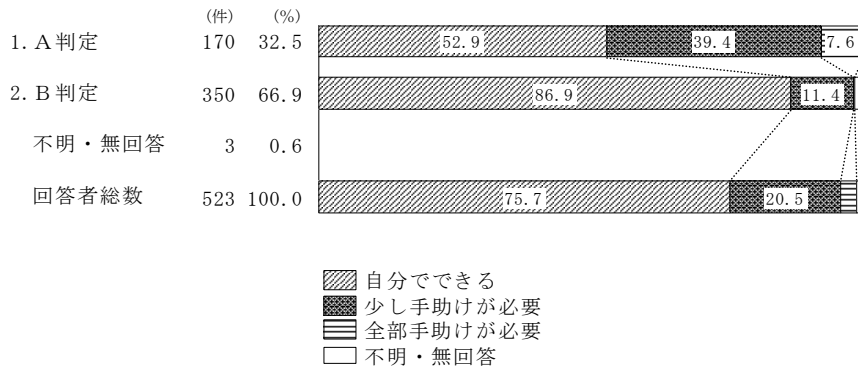
問5 療育手帳の判定 × 問10(2) 日常生活動作の状況（トイレ）〈6歳以上〉



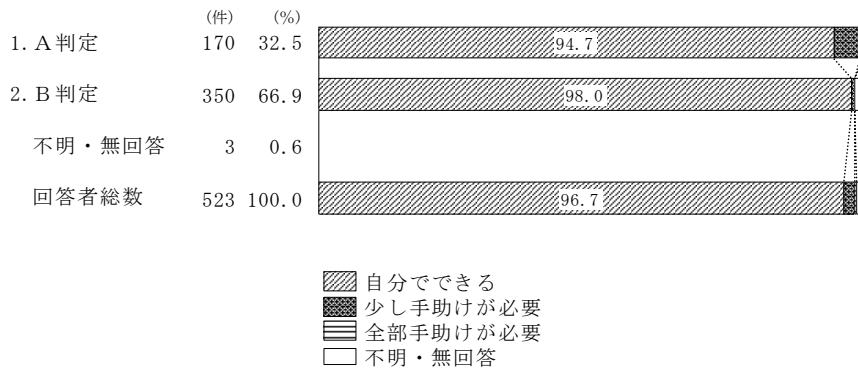
問5 療育手帳の判定 × 問10(3) 日常生活動作の状況（入浴）〈6歳以上〉



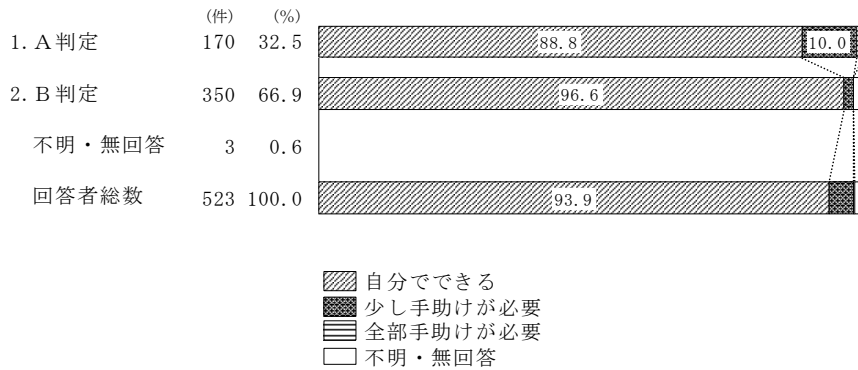
問5 療育手帳の判定 × 問10(4) 日常生活動作の状況（着替え）（6歳以上）



問5 療育手帳の判定 × 問10(5) 日常生活動作の状況（屋内歩行）（6歳以上）

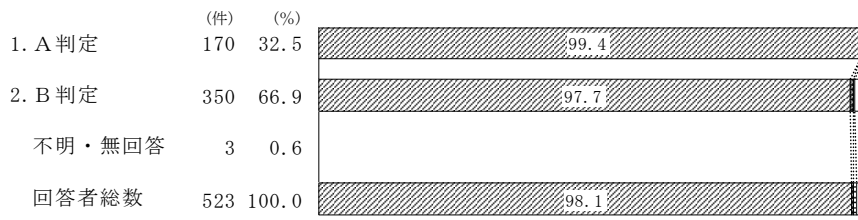


問5 療育手帳の判定 × 問10(6) 日常生活動作の状況（階段の昇降）（6歳以上）



第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

問5 療育手帳の判定 × 問10(7) 日常生活動作の状況（寝返り）（6歳以上）



- ▨ 自分ができる
- ▩ 少し手助けが必要
- ▧ 全部手助けが必要
- 不明・無回答

(3) 主な介助者の状況

7 主な介助者

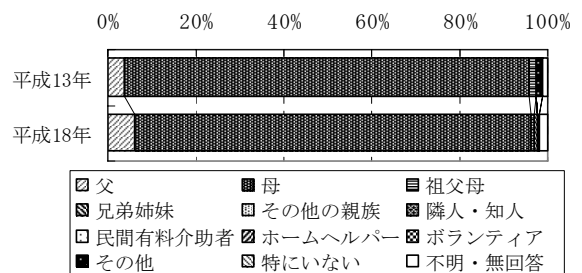
問11-1 「問10」の日頃の生活で、1つでも「2. 少し手助けが必要」「3. 全部手助けが必要」とお答えの方) お子さんの主な介助者は、次のうちどなたですか。

- ・ 今回調査では、「母」が90.2%で最も多く、「父」と合わせると96.1%を占めている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問11-1 主な介助者

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
父*	96.1	3.6	5.9
母*		92.2	90.2
祖父母	0.9	1.7	0.8
兄弟姉妹	0.0	0.0	0.8
その他の親族	0.0	0.0	0.0
隣人・知人	0.0	0.0	0.0
民間有料介助者	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.0
ボランティア	—	0.0	0.0
その他	1.2	1.4	0.4
特にいない	0.3	0.0	0.0
不明・無回答	1.5	1.1	2.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	332	357	255

\* 平成8年は「父」「母」を足した数値



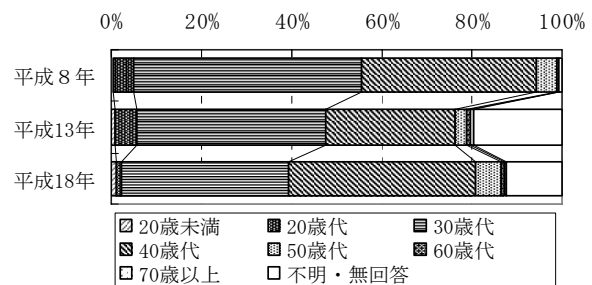
イ 主な介助者の年齢

問11-2-1 「問11-1」で「1. 父」から「5. その他の親族」とお答えの方) お子さんを主に介助されている方の年齢はおいくつですか。

- ・ 今回調査では、「40歳代」が41.4%で最も多く、次いで「30歳代」が36.9%と続いている。30～40歳代で78.3%と全体の8割近くとなっている。
- ・ 前回調査と比べて「30歳代」の比率が5.1ポイント減少し、「40歳代」の比率が12.7ポイント増加している。

問11-2-1 主な介助者の年齢

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
20歳未満	0.3	0.6	1.2
20歳代	4.5	4.9	1.2
30歳代	50.6	42.0	36.9
40歳代	38.9	28.7	41.4
50歳代	4.5	2.9	5.6
60歳代	0.3	0.6	0.8
70歳以上	0.0	0.9	0.4
不明・無回答	0.9	19.5	12.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	332	348	249





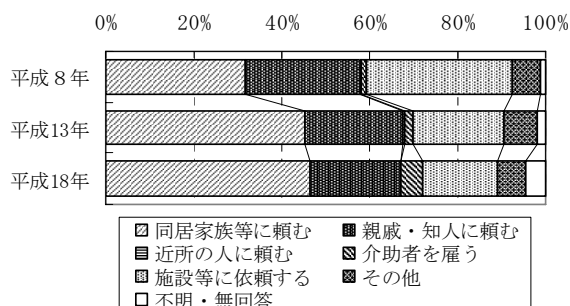
ウ 介助者がいない場合の対応

問11-3 「問10」の日頃の生活で、1つでも「2. 少し手助けが必要」「3. 全部手助けが必要」とお答えの方) お子さんのお世話をなさっている方が万一急病、事故、出産などのために、お世話ができなくなった場合、どうされますか。

- ・ 今回調査では、「同居家族等に頼む」が46.3%で最も多く、次いで「親戚・知人に頼む」が20.8%、「施設等に依頼する」が16.9%と続いている。
- ・ 経年的には、「施設等に依頼する」の比率が減少傾向にある。

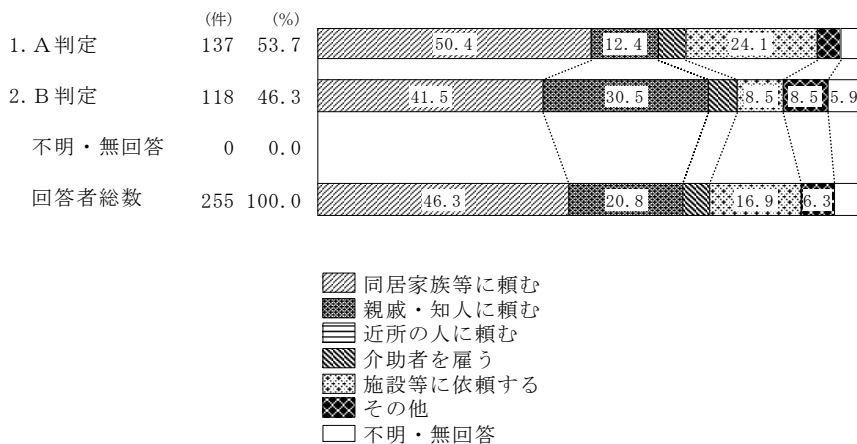
問11-3 介助者がいない場合の対応

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
同居家族等に頼む	31.6	45.1	46.3
親戚・知人に頼む	26.2	22.4	20.8
近所の人に頼む	0.3	0.6	0.0
介助者を雇う	1.2	1.7	5.1
施設等に依頼する	33.1	20.7	16.9
その他	6.3	7.5	6.3
不明・無回答	1.2	2.0	4.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	332	348	255



- ・ 療育手帳の判定別で見ると、「A判定」は「B判定」に比べて「施設等に依頼する」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問11-3 介助者がいない場合の対応



(4) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

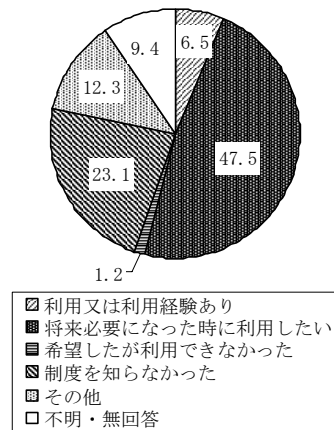
7 利用状況

問12 短期入所（ショートステイ）の利用についておたずねします。あなたは短期入所（ショートステイ）を利用されたことがありますか。

- ・ 今回調査においては、「将来必要になった時に利用したい」が47.5%で最も多く、次いで「制度を知らなかった」が23.1%と続いている。

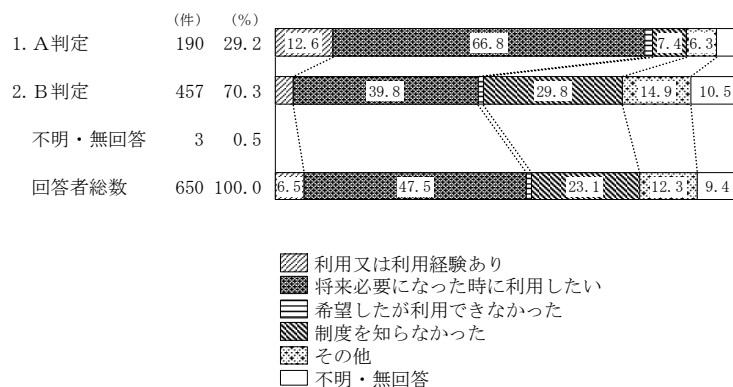
問12 短期入所（ショートステイ）の利用状況  
(単位:%)

	平成18年
利用又は利用経験あり	6.5
将来必要になった時に利用したい	47.5
希望したが利用できなかった	1.2
制度を知らなかった	23.1
その他	12.3
不明・無回答	9.4
合計	100.0
N	650



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「利用又は利用経験あり」と「将来必要になった時に利用したい」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問12 短期入所（ショートステイ）の利用状況



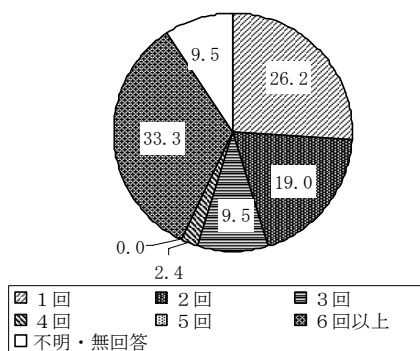
### イ 年間の利用回数

問13-1 「問12」で、短期入所（ショートステイ）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方）過去1年間にどの程度利用しましたか。

- ・ 今回調査では、「6回以上」が33.3%で最も多く、次いで「1回」が26.2%、「2回」が19.0%と続いている。

問13-1 短期入所の年間の利用回数  
(単位:%)

	平成18年
1回	26.2
2回	19.0
3回	9.5
4回	2.4
5回	0.0
6回以上	33.3
不明・無回答	9.5
合計	100.0
N	42



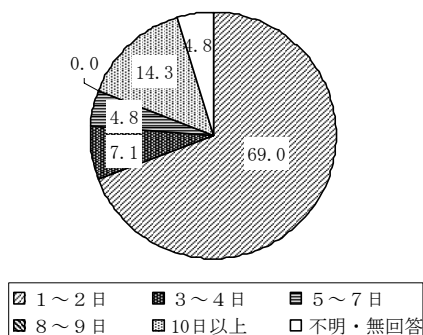
### ウ 利用平均日数

問13-2 「問12」で、短期入所（ショートステイ）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方）1回あたり平均して何日程度利用しましたか。

- ・ 「1～2日」が69.0%で最も多く、次いで「10日以上」が14.3%と続いている。

問13-2 短期入所の利用平均日数  
(単位:%)

	平成18年
1～2日	69.0
3～4日	7.1
5～7日	4.8
8～9日	0.0
10日以上	14.3
不明・無回答	4.8
合計	100.0
N	42



(5) ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

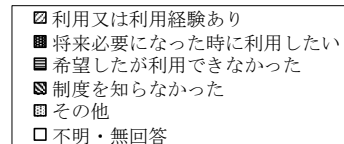
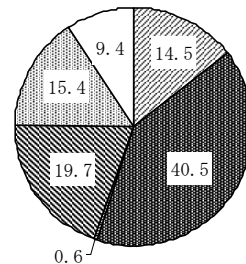
7 利用状況

問14 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用についておたずねします。あなたはホームヘルプサービスを利用されたことがありますか。

- ・ 「将来必要になった時に利用したい」が40.5%で最も多く、次いで「制度を知らなかった」が19.7%と続いている。

問14 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況 (単位:%)

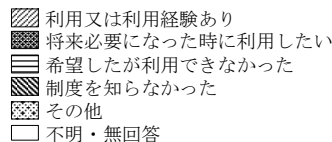
	平成18年
利用又は利用経験あり	14.5
将来必要になった時に利用したい	40.5
希望したが利用できなかった	0.6
制度を知らなかった	19.7
その他	15.4
不明・無回答	9.4
合計	100.0
N	650



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「利用又は利用経験あり」や「将来必要になった時に利用したい」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問14 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

判定	(件)	(%)	利用又は利用経験あり	将来必要になった時に利用したい	希望したが利用できなかった	制度を知らなかった	その他	不明・無回答
1. A判定	190	29.2	30.5	48.4	7.4	6.8	6.3	
2. B判定	457	70.3	7.9	37.2	24.9	19.0	10.3	
不明・無回答	3	0.5						
回答者総数	650	100.0	14.5	40.5	0.6	19.7	15.4	9.4



イ ホームヘルパーに手伝ってほしいこと

問15-1 「問14」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在, 利用している。または利用したことがある」または「2. 将来, 必要になった時に利用したい」とお答えの方) ホームヘルパーに手伝ってほしいことは何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「外出の介助」が 83.2%で最も多く、次いで「家事の介助」が 39.8%、「入浴の介助」が 19.6%などと続いている。

問15-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉  
(単位:%)

	平成18年
食事の介助	9.8
トイレの介助	13.7
入浴の介助	19.6
着替えの介助	3.4
家事の介助	39.8
外出の介助	83.2
不明・無回答	8.4
合計	177.9
N	357

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「外出の介助」や「トイレの介助」、「食事の介助」などの比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問15-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉  
上段: 実数(件)  
下段: 構成比(%)

問5	問15-1	ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉							回答者総数
		1. 食事の介助	2. トイレの介助	3. 入浴の介助	4. 着替えの介助	5. 家事の介助	6. 外出の介助	不明・無回答	
療育手帳の判定	1. A判定	18 12.0	30 20.0	33 22.0	4 2.7	47 31.3	136 90.7	8 5.3	150 100.0
	2. B判定	17 8.3	19 9.2	37 18.0	8 3.9	95 46.1	161 78.2	21 10.2	206 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
	回答者総数	35 9.8	49 13.7	70 19.6	12 3.4	142 39.8	297 83.2	30 8.4	357 100.0

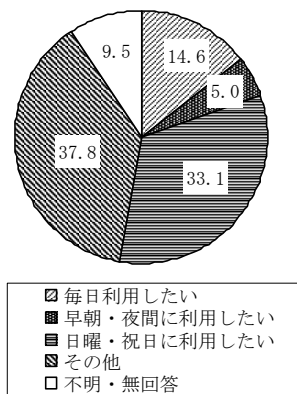
ウ ホームヘルパーの利用希望時間帯等

問15-2 「問14」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーを特にどのように利用したいですか。主なものを1つお答えください。

- ・ 「その他」が37.8%、「日曜や祝日に利用したい」が33.1%、「毎日利用したい」が14.6%と続いている。「その他」の具体的な内容としては、「必要に応じて」、「親がいないとき」、「夏休みなど長期休み」などの記述が見られた。

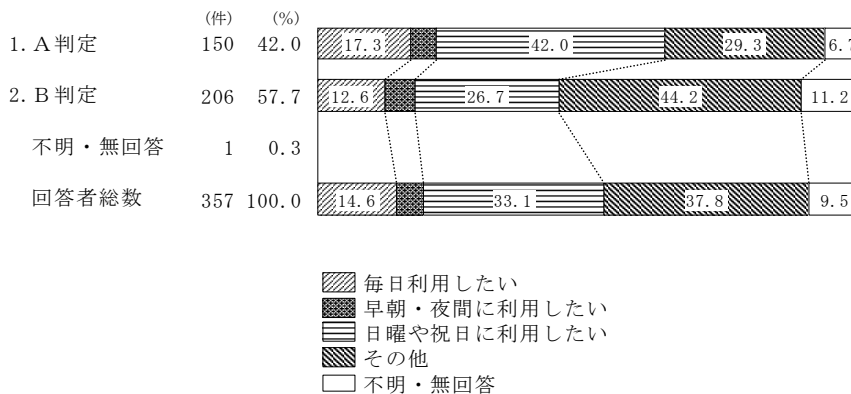
問15-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等  
(単位:%)

	平成18年
毎日利用したい	14.6
早朝・夜間に利用したい	5.0
日曜・祝日に利用したい	33.1
その他	37.8
不明・無回答	9.5
合計	100.0
N	357



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「日曜や祝日に利用したい」や「毎日利用したい」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問15-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等



Ⅰ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

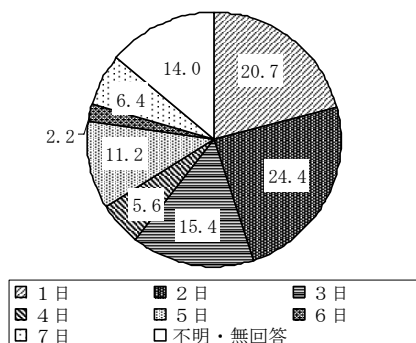
問15-3 「問14」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーを1週間のうち何日利用したいですか。

- ・ 「2日」が24.4%、「1日」が20.7%、「3日」が15.4%となっており、1日～3日で60.5%を占めている。

問15-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

(単位:%)

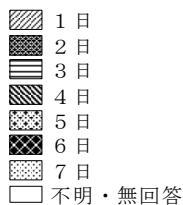
	平成18年
1日	20.7
2日	24.4
3日	15.4
4日	5.6
5日	11.2
6日	2.2
7日	6.4
不明・無回答	14.0
合計	100.0
N	357



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「2日」や「3日」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問15-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

判定	件数	割合 (%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
1. A判定	150	42.0	19.3	28.7	18.7	10.0	8.0	8.7		
2. B判定	206	57.7	21.8	21.4	13.1	6.8	12.1		17.5	
不明・無回答	1	0.3								
回答者総数	357	100.0	20.7	24.4	15.4	5.6	11.2	2.2	6.4	14.0



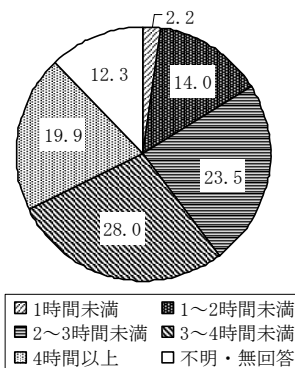
オ ホームヘルパーの利用希望時間数

問15-4 「問14」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方) ホームヘルパーを1日に何時間利用したいですか。

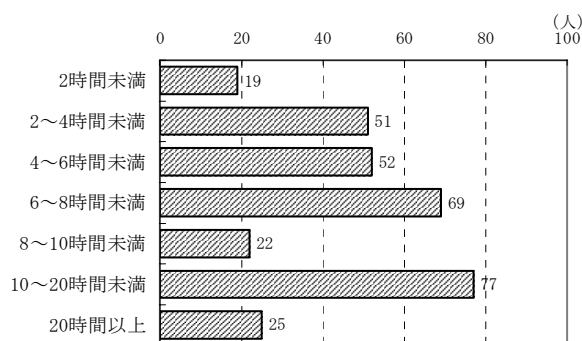
- ・ 「3～4時間未満」が28.0%と最も多く、次いで「2～3時間未満」が23.5%、「4時間以上」が19.9%などと続いている。
- ・ 1週間当たりの利用希望延べ時間分布を見ると、「10～20時間未満」が最も多くなっている。

問15-4 ホームヘルパーの利用希望時間数  
(単位:%)

	平成18年
1時間未満	2.2
1～2時間未満	14.0
2～3時間未満	23.5
3～4時間未満	28.0
4時間以上	19.9
不明・無回答	12.3
合計	100.0
N	357



ホームヘルパーの利用希望延べ時間分布（週当たり）



\* 算出方法：各個人のデータから、利用希望時間数(1日)×利用希望日数を積み上げたもの



(6) 児童デイサービス（通園施設を含む）の利用状況

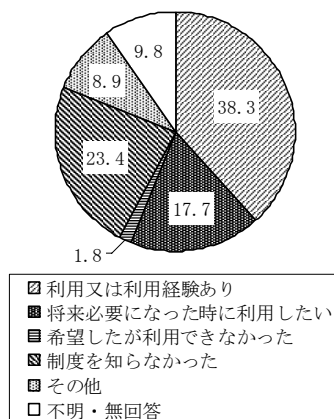
7 利用状況

問16 児童デイサービス（通園施設を含む）の利用についておたずねします。あなたは児童デイサービスを利用したことがありますか。

- ・ 「利用又は利用経験あり」が 38.3%で最も多く、次いで「制度を知らなかった」が 23.4%、「将来必要になった時に利用したい」が 17.7%と続いている。

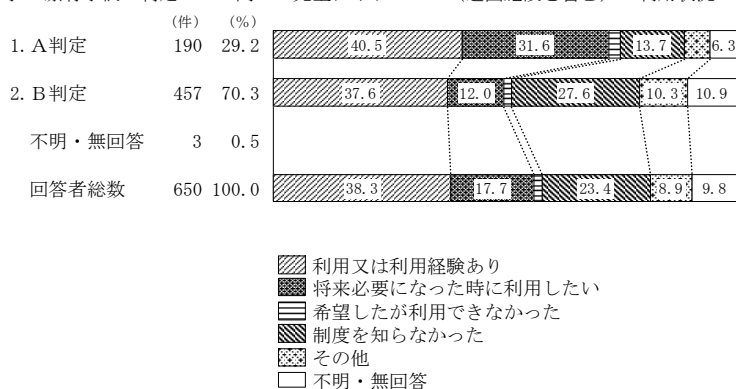
問16 児童デイサービス（通園施設を含む）の利用状況  
(単位:%)

	平成18年
利用又は利用経験あり	38.3
将来必要になった時に利用したい	17.7
希望したが利用できなかった	1.8
制度を知らなかった	23.4
その他	8.9
不明・無回答	9.8
合計	100.0
N	650



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「将来必要になった時に利用したい」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問16 児童デイサービス（通園施設を含む）の利用状況



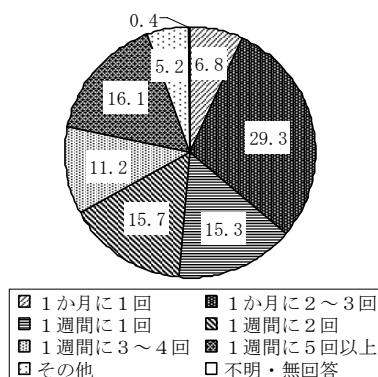
イ 利用回数

問17-1 「問16」で「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方)どの程度利用していますか。

- ・ 「1か月に2～3回」が29.3%と最も多くなっており、次いで「1週間に5回以上」や「1週間に2回」などが続いている。

問17-1 児童デイサービスの利用回数

	(単位:%) 平成18年
1か月に1回	6.8
1か月に2～3回	29.3
1週間に1回	15.3
1週間に2回	15.7
1週間に3～4回	11.2
1週間に5回以上	16.1
その他	5.2
不明・無回答	0.4
合計	100.0
N	249



## 4. 外出の状況

### (1) 外出回数

問18 お子さんは普通1か月に何回ぐらい外出されますか。

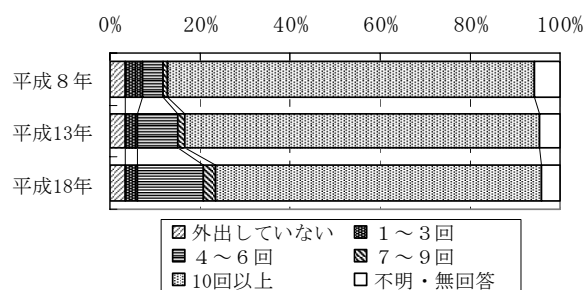
(1) 仕事・通学の場合、(2) 仕事・通学以外の場合に分けてお答えください。

- ・ 仕事・通学の場合については、“月に10回以上”が72.5%で最も多く、次いで“月に4回～6回”が14.6%と続いている。
- ・ 仕事・通学以外の場合については、“月に10回以上”が44.5%で最も多く、次いで“月に4回～6回”が17.8%，“月に1回～3回”が17.1%と続いている。

問18(1) 外出回数（仕事・通学の場合）

(単位:%) (単位:%)

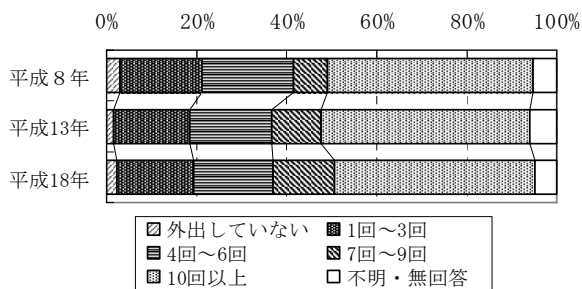
	平成8年	平成13年	平成18年
外出していない	3.5	3.5	3.2
1～3回	3.5	2.5	2.9
4～6回	4.7	9.2	14.6
7～9回	1.1	1.3	2.8
10回以上	81.5	78.8	72.5
不明・無回答	5.6	4.7	4.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



問18(2) 外出回数（仕事・通学以外の場合）

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
外出していない	3.2	1.5	2.2
1回～3回	17.9	16.9	17.1
4回～6回	20.4	18.2	17.8
7回～9回	7.6	10.9	13.4
10回以上	45.7	46.7	44.5
不明・無回答	5.3	5.9	5.1
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



## (2) 仕事・通学以外の外出の目的

問19-1 「問18」で「仕事・通学以外で外出した」とお答えの方) その場合、外出の目的は何でしたか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「買物」が85.2%で最も多く、次いで「知人宅訪問」が34.8%、「レクリエーション」が33.5%、「スポーツ活動」と「その他」が24.9%と続いている。
- ・ 経年的に見ても、「買物」や「知人宅訪問」、「レクリエーション」などの比率が高くなっていることは同様である。なお、「通院」の比率については、減少傾向にある。

問19-1 仕事・通学以外の外出の目的〈複数回答3〉

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
買物	87.3	89.2	85.2
知人宅訪問	40.1	33.8	34.8
レクリエーション	39.3	34.7	33.5
障害者団体の活動	8.8	6.1	6.5
ボランティア活動	2.5	1.6	1.3
町内会・自治会活動	2.7	3.6	4.6
スポーツ活動	12.9	17.7	24.9
博物館見学や教養講座参加	3.5	2.7	7.0
通院	31.3	28.9	22.2
施設の利用	10.4	11.9	11.1
その他	22.5	25.6	24.9
不明・無回答	0.8	0.2	1.3
合計	230.7	256.0	257.4
N	521	554	603

## (3) 外出の際の利用交通機関

問20 お子さんが外出されるとき、主に利用される交通機関は何ですか。利用回数の多いものから2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「自家用車」が58.0%で最も多く、次いで「市バス」が46.5%、「市営地下鉄」が26.8%、「私鉄」が22.5%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて「市営地下鉄」や「市バス」の比率が増加している。

問20 外出の際の利用交通機関〈複数回答2〉

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
JR	4.9	8.2	5.2
私鉄	20.7	20.2	22.5
市営地下鉄	9.3	20.1	26.8
市バス	51.8	35.6	46.5
JR・民営バス	5.4	3.7	2.9
タクシー	14.4	11.9	7.4
自家用車	61.2	62.4	58.0
その他	11.6	12.0	12.3
不明・無回答	2.8	3.5	2.0
合計	182.1	177.6	183.5
N	569	598	650

(4) 外出の際の問題点

問21 お子さんが外出される時、どのようなことにお困りですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「車などに危険を感じる」が42.6%で最も多く、次いで「特にない」が30.9%、「介助者がいない」と「駅や道路の案内や表示がわかりにくい」が共に15.4%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「車などに危険を感じる」の比率が増加し、「道路や駅に階段や段差が多い」や「利用できる交通機関が少ない」などの比率が減少している。

問21 外出の際の問題点〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
道路や駅に階段や段差が多い	23.9	23.1	13.2
利用できる交通機関が少ない	17.8	16.7	13.1
車などに危険を感じる	41.7	37.6	42.6
介助者がいない	13.9	13.7	15.4
駅や道路の案内や表示がわかりにくい	15.5	12.5	15.4
その他	16.2	21.6	24.0
特にない	30.1	31.3	30.9
不明・無回答	6.2	5.9	2.9
合計	165.3	162.4	157.5
N	569	598	650

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「道路や駅に階段や段差が多い」や「車などに危険を感じる」、「介助者がいない」などの比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問21 外出の際の問題点〈複数回答3〉

上段：実数(件)  
下段：構成比(%)

療育手帳の判定	問5	問21 外出の際の問題点〈複数回答3〉							回答者総数	
		1. 道路や駅に階段や段差が多い	2. 利用できる交通機関が少ない	3. 車などに危険を感じる	4. 介助者がいない	5. 駅や道路の案内や表示がわかりにくい	6. その他	7. 特にない		
療育手帳の判定	1. A判定	39 20.5	21 11.1	95 50.0	44 23.2	28 14.7	48 25.3	42 22.1	2 1.1	190 100.0
	2. B判定	47 10.3	64 14.0	182 39.8	56 12.3	72 15.8	108 23.6	158 34.6	15 3.3	457 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	3 100.0
	回答者総数	86 13.2	85 13.1	277 42.6	100 15.4	100 15.4	156 24.0	201 30.9	19 2.9	650 100.0

## 5. 教育の状況

### (1) 就学前教育等の状況

問22-1（学齢前（0～6歳未満）のお子さんがいるご家庭の方）お子さんは現在、日中どのように過ごしておられますか。2つまでお答えください。（ただし、保育所などから通園施設にかよっている方は、両方を記入してください。）

- ・ 今回調査では、「通園施設」が67.5%で最も多く、次いで「保育所」が47.9%、「総合療育事業」が12.0%、「幼稚園」が9.4%などとなっている。
- ・ 経年的には、「保育所」の比率が増加傾向にあり、前回調査と比べて「通園施設」の比率が減少している。「その他」の具体的内容としては、「児童福祉センター」などの記述が見られた。

問22-1 就学前教育等の状況（複数回答2）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年
保育所	35.4	36.6	47.9
幼稚園	2.0	10.6	9.4
通園施設	61.6	73.2	67.5
総合療育事業*	-	-	12.0
その他	17.2	9.8	10.3
自宅にいる	5.1	4.9	3.4
不明・無回答	1.0	0.8	0.9
合計	122.3	135.8	151.3
N	99	123	117

\* 平成18年追加項目

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「通園施設」や「その他」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問22-1 就学前教育等の状況（複数回答2）

上段：実数（件）  
下段：横構成比（%）

問5	問22-1 就学前教育等の状況（複数回答2）							回答者総数
	1. 保育所	2. 幼稚園	3. 通園施設	4. 総合療育事業	5. その他	6. 自宅にいる	不明・無回答	
療育手帳の判定	3	0	13	2	3	1	0	16
1. A判定	18.8	0.0	81.3	12.5	18.8	6.3	0.0	100.0
2. B判定	53	11	66	12	9	3	1	101
	52.5	10.9	65.3	11.9	8.9	3.0	1.0	100.0
不明・無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答者総数	56	11	79	14	12	4	1	117
	47.9	9.4	67.5	12.0	10.3	3.4	0.9	100.0

(2) 就学している学校

問23-1 （現在、就学されているお子さんがいるご家庭の方）現在、就学されている学校は、次のうちどれにあたりますか。

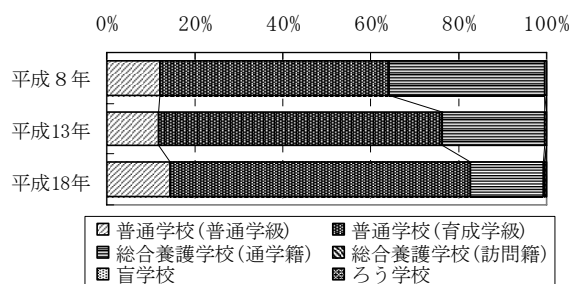
- ・ 「小学校（部）」では、比率の高いものから「普通学校（育成学級）」、「総合支援学校（通学籍）」、「普通学校（普通学級）」などの順になっている。「中学校（部）」では、「普通学校（育成学級）」、「総合支援学校（通学籍）」、「普通学校（普通学級）」の順である。また「高等学校（高等部）」では、「総合支援学校（通学籍）」、「普通学校」、「総合支援学校（訪問籍）」の順となっている。（総合養護学校は、平成19年4月から、総合支援学校に改称）
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「小学校（部）」では、「普通学校（普通学級）」、「普通学校（育成学級）」の比率が増加し、「総合支援学校（通学籍）」の比率が減少する傾向が見られる。また、「中学校（部）」では、「普通学校（普通学級）」、「普通学校（育成学級）」の比率が増加し、「総合支援学校（通学籍）」が減少している。なお、「高等学校（高等部）」では比率の大きな変化は見られない。

問23-1 就学している学校  
（小学校（部））

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
普通学校（普通学級）	11.9	11.8	14.4
普通学校（育成学級）	52.3	64.5	68.2
総合養護学校（通学籍）*1	35.3	23.2	16.7
総合養護学校（訪問籍）*2	0.0	0.5	0.4
盲学校	0.5	0.0	0.0
ろう学校	0.0	0.0	0.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	218	211	264

\*1 平成18年以外は「養護学校」

\*2 平成18年以外は「訪問教育」

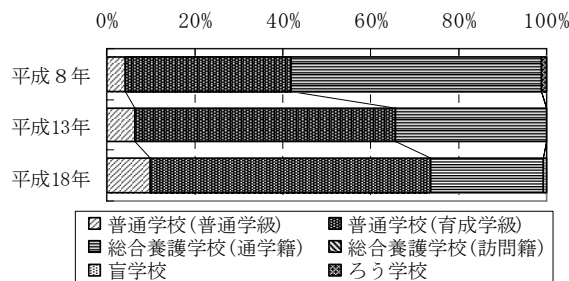


問23-1 就学している学校  
（中学校（部））

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
普通学校（普通学級）	4.1	6.6	9.8
普通学校（育成学級）	37.7	59.2	63.9
総合養護学校（通学籍）*1	57.1	34.2	25.4
総合養護学校（訪問籍）*2	0.0	0.0	0.0
盲学校	0.0	0.0	0.8
ろう学校	1.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	98	76	122

\*1 平成18年以外は「養護学校」

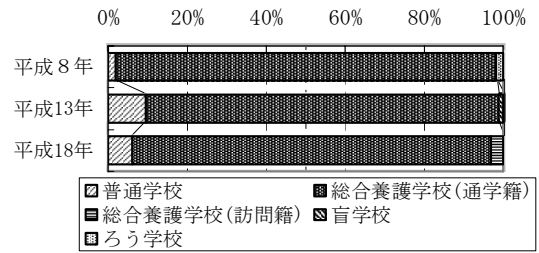
\*2 平成18年以外は「訪問教育」



問23-1 就学している学校  
(高等学校(高等部))

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
普通学校	1.8	9.5	6.1
総合養護学校(通学籍)*	96.5	89.3	90.8
総合養護学校(訪問籍)*			3.1
盲学校	0.0	1.2	0.0
ろう学校	1.8	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	113	84	98

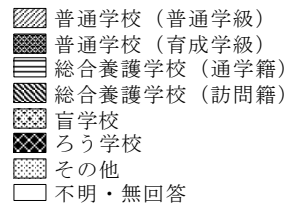
\* 平成18年以外は「養護学校」



- 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「総合養護学校(通学籍)」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問23-1 就学している学校

判定	(件)	(%)	学校別割合 (%)					
1. A判定	170	32.5	40.0	54.7				
2. B判定	350	66.9	15.1	54.3	20.3	8.6		
不明・無回答	3	0.6						
回答者総数	523	100.0	10.7	49.3	31.4	6.9		





(3) 学校（高等部）卒業後の進路希望

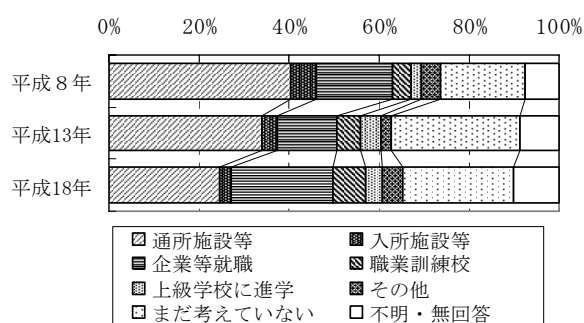
問23-2 あなたのお子さんの学校（高等部）卒業後の進路希望について、主なものを1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「通所施設等」と「まだ考えていない」が共に 24.7%を占めており、次いで「企業等就職」が 22.4%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて「通所施設等」の比率が減少し、その一方で「企業等就職」の比率は増加している。

問23-2 学校（高等部）卒業後の進路希望

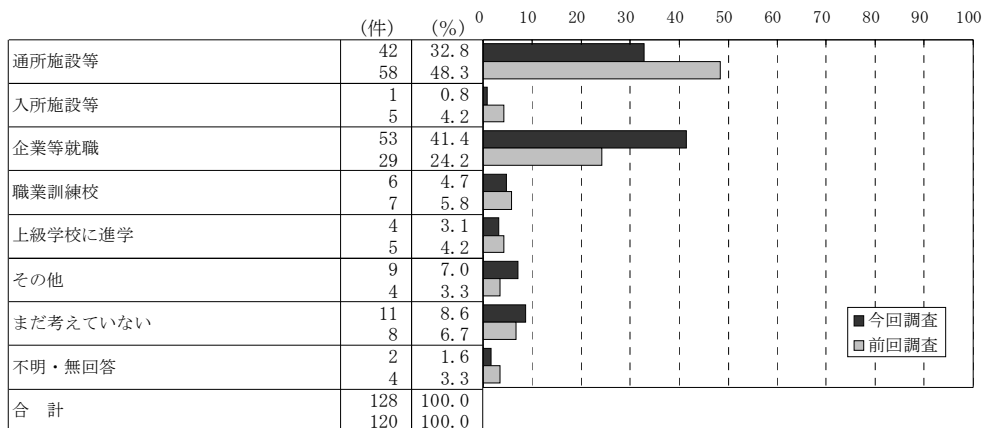
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
通所施設等	40.2	34.1	24.7
入所施設等	6.0	3.1	2.7
企業等就職	16.8	13.2	22.4
職業訓練校	4.1	5.3	7.3
上級学校に進学	2.2	4.6	3.8
その他	4.3	2.4	4.4
まだ考えていない	18.8	28.4	24.7
不明・無回答	7.6	8.8	10.1
合計	100.0	100.0	100.0
N	463	454	523



- ・ 今回調査において、進路希望が定まると考えられる 15～17歳で集計すると、「企業等就職」が 41.4%、「通所施設等」が 32.8%となっている。経年的には、「通所施設等」の比率が減少し、「企業等就職」の比率が増加傾向にある。

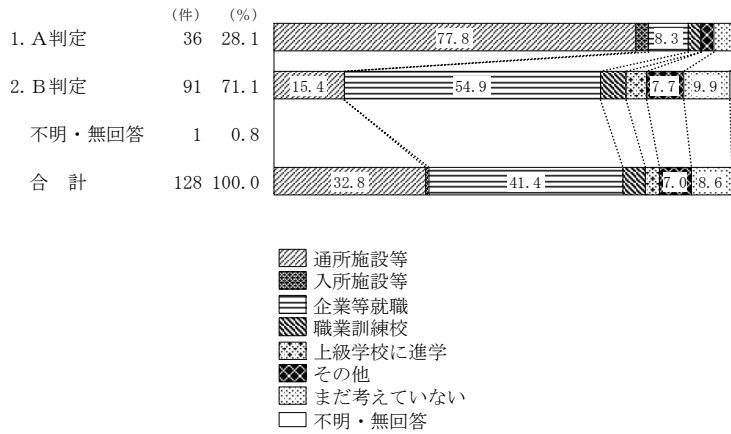
問23-2 学校（高等部）卒業後の進路希望（15～17歳で集計）



- 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「通所施設等」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定

× 問23-2 学校（高等部）卒業後の進路希望（15～17歳で集計）



## 6. 健康・医療などの状況

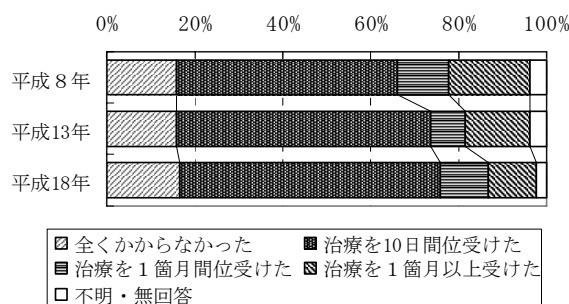
### (1) 過去1年間の治療の状況

問24 お子さんは、過去1年間に、病気（かぜ・腹痛・歯痛などの病気を含む）のために病院などで治療を受けられたことがありますか。

- ・ 今回調査では、「治療を10日間位受けた」が59.5%で最も多く、次いで「全くかからなかった」が16.5%、「治療を1か月以上受けた」が11.1%、「治療を1か月間位受けた」が10.6%となっている。“治療を受けた”人は、81.2%と約8割となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて大きな違いは見られないが、「治療を10日間位受けた」の比率が増加傾向にある。

問24 過去1年間の治療の状況

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
全くかからなかった	15.8	15.9	16.5
治療を10日間位受けた	50.3	57.5	59.5
治療を1か月間位受けた	11.6	8.2	10.6
治療を1か月以上受けた	18.6	14.7	11.1
不明・無回答	3.7	3.7	2.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



### (2) 慢性的な病気の状況

問25 お子さんは現在、次の慢性的な病気にかかっておられますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「かかっていない」が48.0%で最も多く、次いで「その他」が13.4%と続いている。「その他」の具体的内容として、「アレルギー症」、「歯科」、「目」、「鼻炎」などの記述が見られた。
- ・ 前回調査と比べて、「てんかん」の比率が減少している。

問25 慢性的な病気の状況（複数回答2）

	(単位:%)	
	平成13年	平成18年
ぜん息	6.7	7.7
アトピー性皮膚炎	11.7	12.0
てんかん	17.2	11.7
心臓疾患	6.0	4.3
肥満（医者から指導を受けている場合）	2.2	2.2
その他	15.6	13.4
かかっていない	46.3	48.0
不明・無回答	8.7	12.2
合計	114.4	111.4
N	598	650

(3) 慢性的な病気の治療日数

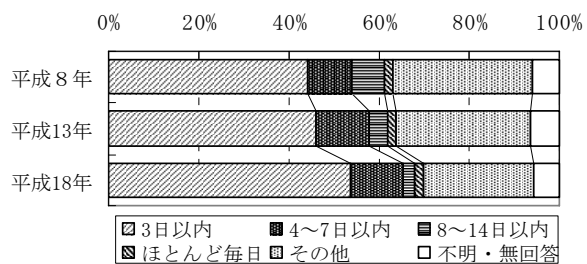
問26-1 「問25」で、「1. ぜん息」から「6. その他」までのいずれかをお答えの方  
その病気の治療のため、1か月に何日ぐらい治療を受けに行っておられますか。（延べ日  
数でお答えください。）

- ・ 今回調査では、「3日以内」が53.7%で最も多くなっている。
- ・ 経年的には、「3日以内」の比率が増加し、「その他」の比率が減少している。「その他」の内容としては、「月に数回」、「年に数回」などの記述が見られた。

問26-1 慢性的な病気の治療日数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
3日以内	44.0	46.2	53.7
4~7日以内	10.0	11.6	11.6
8~14日以内	7.0	4.0	2.7
ほとんど毎日	2.0	2.2	1.9
その他	31.0	29.6	24.3
不明・無回答	6.0	6.5	5.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	100	277	259



(4) 障害の診断・判定場所

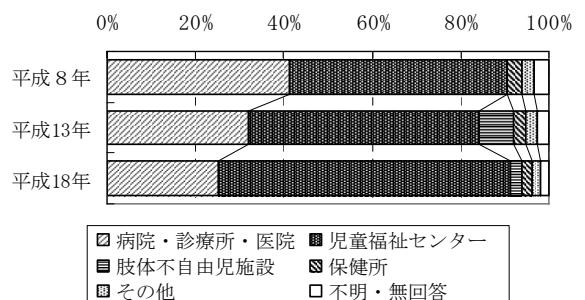
問27 お子さんの障害は、どこで診断・判定を受けて、はっきりしたことがわかりましたか。  
1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「児童福祉センター」が66.2%で最も多く、次いで「病院・診療所・医院」が25.1%となっている。
- ・ 経年的には、「児童福祉センター」の比率が増加し、「病院・診療所・医院」の比率が低下している。

問27 障害の診断・判定場所

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
病院・診療所・医院	41.5	32.1	25.1
児童福祉センター	49.0	52.2	66.2
肢体不自由児施設	—	7.9	2.9
保健所	3.3	2.3	2.2
その他*	3.0	2.6	1.8
不明・無回答	3.2	2.8	1.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	562	598	650



\* 平成13年は「その他」に「学校」を含む。  
平成8年は「その他」に「療育相談室」と「学校」を含む。

(5) 障害判定時の悩み

問28 お子さんの障害状況について診断・判定を受けた頃、ご家族（保護者）のみなさんのご苦労、お悩み、不安はいかがでしたか。最も近いものを2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「療育上の相談相手がなかった」が 38.3%で最も多く、次いで「適切な療育施設がほしかった」が 28.3%、「早期の制度的な検診がほしかった」が 23.1%などと続いている。全体的には、悩みが多岐にわたっている状況がうかがえる。
- ・ 経年的には、「早期の制度的な検診がほしかった」の比率が増加しており、逆に「療育上の相談相手がなかった」や「保健所等でもっと指導がほしかった」の比率が低下している。

問28 障害判定時の悩み（複数回答2）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年
早期の制度的な検診がほしかった	14.1	17.9	23.1
療育上の相談相手がなかった	47.1	43.0	38.3
適切な医療機関がほしかった	14.2	11.9	14.0
適切な療育施設がほしかった	25.1	27.8	28.3
保健所等でもっと指導がほしかった	22.0	21.2	15.7
介護の手助けがほしかった	17.2	17.6	19.2
家族の仕事上に問題が生じた	7.9	8.7	11.2
医療費に悩んだ	8.3	5.5	4.8
その他	10.4	12.9	13.7
不明・無回答	7.0	6.4	5.4
合計	173.8	172.7	173.7
N	562	598	650

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「介護の手助けがほしかった」の比率が特に高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問28 障害判定時の悩み（複数回答2）

上段：実数（件）  
下段：横構成比（%）

問5	問28	障害判定時の悩み（複数回答2）									回答者総数	
		1. 早期の制度的な検診がほしかった	2. 療育上の相談相手がなかった	3. 適切な医療機関がほしかった	4. 適切な療育施設がほしかった	5. 保健所等でもっと指導がほしかった	6. 介護の手助けがほしかった	7. 家族の仕事上に問題が生じた	8. 医療費に悩んだ	9. その他		不明・無回答
療育手帳の判定	1. A判定	39 20.5	76 40.0	34 17.9	56 29.5	32 16.8	54 28.4	22 11.6	7 3.7	19 10.0	5 2.6	190 100.0
	2. B判定	111 24.3	173 37.9	57 12.5	127 27.8	70 15.3	71 15.5	51 11.2	24 5.3	70 15.3	28 6.1	457 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	3 100.0
	回答者総数	150 23.1	249 38.3	91 14.0	184 28.3	102 15.7	125 19.2	73 11.2	31 4.8	89 13.7	35 5.4	650 100.0

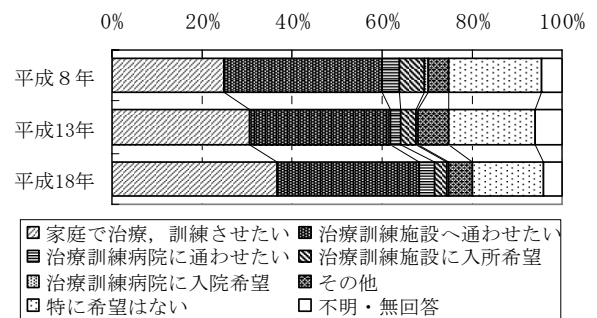
(6) 今後の治療、訓練についての希望

問29 お子さんの今後の治療、訓練についてどのような希望をお持ちでしょうか。次のうちから、ご希望に最も近いものを1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「家庭で治療、訓練させたい」が36.6%で最も多く、次いで「治療訓練施設へ通わせたい」が31.7%、「特に希望はない」が16.0%と続いている。
- ・ 経年的には、「家庭で治療、訓練させたい」の比率が増加傾向にあり、「特に希望はない」の比率が減少している。

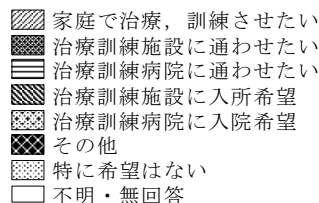
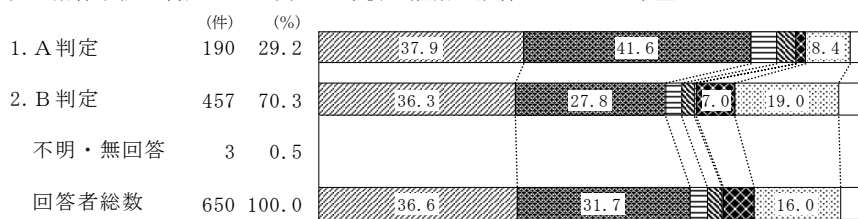
問29 今後の治療、訓練についての希望

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
家庭で治療、訓練させたい	25.0	30.4	36.6
治療訓練施設へ通わせたい	35.0	31.4	31.7
治療訓練病院に通わせたい	3.7	2.3	3.4
治療訓練施設に入所希望	5.6	3.2	2.6
治療訓練病院に入院希望	0.9	0.7	0.3
その他	4.7	6.5	5.4
特に希望はない	20.4	19.2	16.0
不明・無回答	4.7	6.2	4.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	562	598	650



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「治療訓練施設に通わせたい」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問29 今後の治療・訓練についての希望



## 7. 災害時の対応

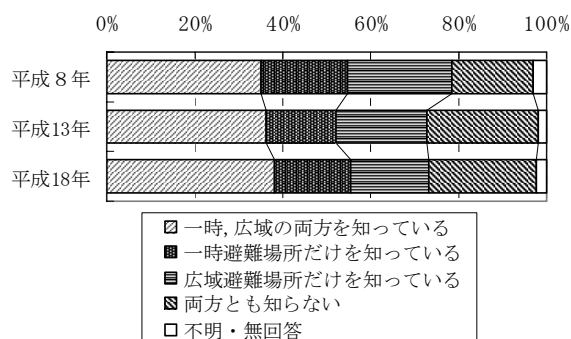
### (1) 避難場所の認知

問30 あなたのご家庭では、火事や地震などの災害時に避難する場所として、あなたの地域に「一時避難場所」や「広域避難場所」があることを知っていますか。

- ・ 今回調査では、「一時、広域の両方を知っている」が 38.2%で最も多く、次いで「両方とも知らない」が 24.8%と続いている。
- ・ 経年的には、「一時、広域の両方を知っている」の比率が増加傾向にある。

問30 避難場所の認知

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
一時、広域の両方を知っている	35.1	36.3	38.2
一時避難場所だけを知っている	19.7	15.9	17.4
広域避難場所だけを知っている	23.7	20.7	17.5
両方とも知らない	18.3	25.3	24.8
不明・無回答	3.2	1.8	2.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



(2) 災害時の単独避難の可否

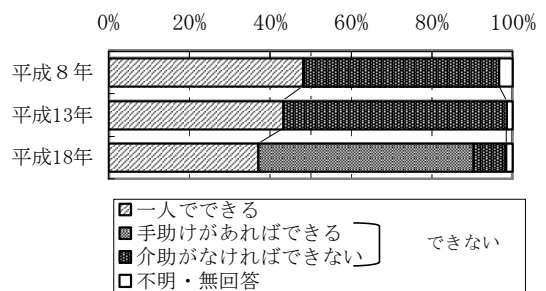
問31 あなたのお子さんは、災害時、家の外に逃げることができますか。

- ・ 6歳以上の子どもについて見ると、「手助けがあればできる」が53.2%で最も多く、次いで「一人でできる」が37.1%、「介助がなければできない」が8.2%と続いている。
- ・ 経年的には、「一人でできる」の比率が低下し、「一人でできない（手助けがあればできる＋介助がなければできない）」の比率が増加している。

問31 災害時の単独避難の可否（6歳以上）\*

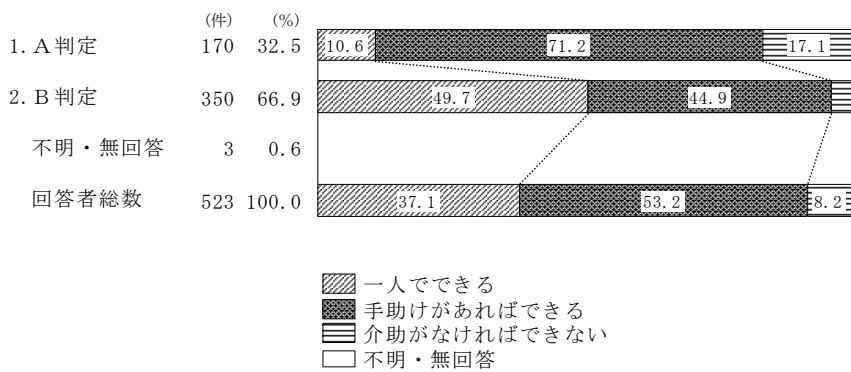
	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
一人でできる	48.2	43.2	37.1
手助けがあればできる			53.2
介助がなければできない	48.4	55.3	8.2
不明・無回答	3.4	1.5	1.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	508	454	523

\* 平成18年以外は「できる」「できない」の二択



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「一人でできる」の比率が低く、「手助けがあればできる」の比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問31 災害時の単独避難の可否（6歳以上）





### (3) 自主防災組織の認知

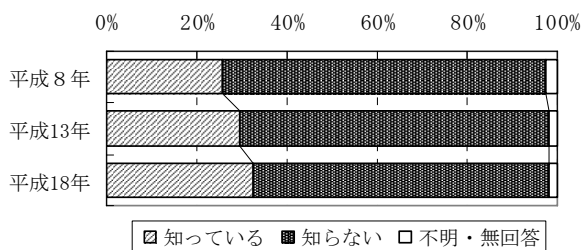
**問32 災害に巻き込まれた時、地域の住民同士で助け合うことを目的とした「自主防災組織」が、市内の各地域で結成されていることを、あなたのご家庭では知っていますか。**

- ・ 今回調査では、「知っている」が32.5%、「知らない」が65.5%となっている。
- ・ 経年的には、「知っている」の比率が増加し、「知らない」の比率が減少している。

問32 自主防災組織の認知

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
知っている	25.5	29.6	32.5
知らない	71.7	68.6	65.5
不明・無回答	2.8	1.8	2.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	569	598	650



### (4) 自主防災組織への参加状況

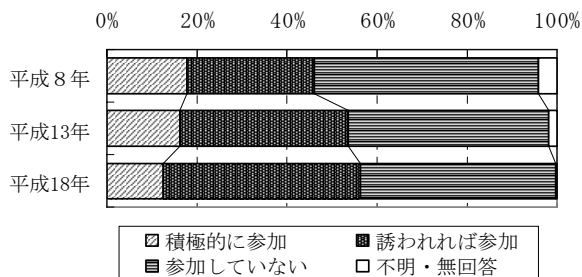
**問33-1 「問32」で「1. 知っている」とお答えの方 あなたのご家庭では、どなたかが自主防災組織の活動に参加されていますか。**

- ・ 今回調査では、「誘われれば参加」が44.1%で最も多く、次いで「参加していない」が43.1%、「積極的に参加」が12.3%と続いている。
- ・ 経年的には、「積極的に参加」の比率が減少し、「誘われれば参加」の比率が増加している。

問33-1 自主防災組織への参加状況

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
積極的に参加	17.9	16.4	12.3
誘われれば参加	28.3	37.3	44.1
参加していない	49.7	44.6	43.1
不明・無回答	4.1	1.7	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	145	177	211



## (5) 災害時の不安

問34 あなたのお子さんが災害に巻き込まれた時に、あなたはどのようなことに不安を感じますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「自分で避難ができない」が57.8%で最も多く、次いで「初期消火ができない」が41.2%、「避難所での滞在」が25.4%となっている。

問34 災害時の不安〈複数回答2〉

(単位:%)

	平成18年
自分で避難ができない	57.8
初期消火ができない	41.2
医療器具の使用・服薬ができなくなる	8.6
避難所での滞在	25.4
情報の取得	11.8
その他	10.6
特にない	10.2
不明・無回答	4.9
合 計	170.6
N	650

## 8. 福祉施設の利用及び福祉施策への要望など

### (1) 悩みごとの相談先

問35 あなたは、お子さんの障害のことなどで悩んだり心配したとき、また福祉サービスに関する情報を知りたいとき、どのようなところで相談されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「福祉事務所など市の専門機関」が65.8%で最も多く、次いで、「家族・知人」が52.3%、「学校・会社」が45.5%、「医療機関」が32.3%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「障害のある市民団体」や「社会福祉施設職員」、「医療機関」などの比率が減少し、「福祉事務所など市の専門機関」や「障害者地域生活支援センター」、「学校・会社」などの比率が増加している。

問35 悩みごとの相談先（複数回答3）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年
福祉事務所など市の専門機関	69.2	63.7	65.8
障害のある市民団体	19.5	14.4	8.2
民生委員・児童委員	3.5	2.0	1.4
知的障害者相談員	5.8	5.2	4.3
社会福祉施設職員	12.8	7.7	6.3
障害者地域生活支援センター*	—	10.7	13.8
ホームヘルパー	0.5	0.7	4.9
ボランティア	4.9	1.0	1.5
学校・会社	—	40.8	45.5
医療機関	—	36.0	32.3
家族・知人	66.8	53.5	52.3
その他	25.1	10.7	12.2
不明・無回答	4.7	2.3	2.2
合計	212.8	248.7	250.8
N	569	598	650

\* 平成13年は「障害者生活支援センター」1.8%と「地域生活支援センター」8.9%の合算

## (2) 今後の相談内容

問36 あなたは、お子さんのことで、今後どのようなことを相談したいと思いますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「教育のこと」が63.8%で最も多く、次いで「仕事のこと」が56.2%、「日常生活の悩みのこと」が42.2%、「福祉サービスの利用・介助のこと」が42.0%などとなっている。
- ・ 経年的には、「仕事のこと」や「収入のこと」、「福祉サービスの利用・介助のこと」などの比率が増加傾向にある。

問36 今後の相談内容（複数回答3）

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
医療・健康のこと	36.2	37.5	30.6
教育のこと	66.6	64.9	63.8
仕事のこと	47.8	49.3	56.2
収入のこと	10.7	14.0	19.4
福祉サービスの利用・介助のこと*	18.8	39.5	42.0
日常生活の悩みのこと	45.5	44.6	42.2
災害時の避難方法などのこと	10.9	5.7	7.7
その他	6.9	4.5	5.2
不明・無回答	4.2	2.3	1.8
合計	247.6	262.4	268.9
N	569	598	650

\* 平成8年は「介助のこと」

(3) 利用を希望する施設・障害者施策

問37 あなたは、どのような施設や障害者施策の利用を希望されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「障害者地域生活支援センター」が 43.7%で最も多く、次いで「自立訓練を行う施設」が 33.4%、「ガイドヘルパー」が 29.7%、「就労移行支援、職業訓練校」が 28.9%などと続いている。

問37 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）  
（単位：%）

	平成18年
障害者地域生活支援センター	43.7
ホームヘルプサービス	6.3
ショートステイ	21.5
ガイドヘルパー	29.7
重度障害者等包括支援	3.1
デイサービス	12.8
就労移行支援、職業訓練校	28.9
授産施設、福祉工場、共同作業所	20.5
自立訓練を行う施設	33.4
施設入所支援	3.1
ケアホーム、福祉ホーム等	12.6
重症心身障害児(者)施設	1.1
公営住宅	6.3
老人ホームなどの施設	17.4
スポーツ施設	12.5
サークル活動、文化活動などのできる施設	14.0
その他	4.5
不明・無回答	2.9
合計	274.2
N	650

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「ショートステイ」、「ガイドヘルパー」、「授産施設、福祉工場、共同作業所」などの比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問37 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）

問5	問37	利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）									
		1. 障害者地域生活支援センター	2. ホームヘルプサービス	3. ショートステイ	4. ガイドヘルパー	5. 重度障害者等包括支援	6. デイサービス	7. 就労移行支援、職業訓練校	8. 授産施設、福祉工場、共同作業所	9. 自立訓練を行う施設	10. 施設入所支援
療育手帳の判定	1. A判定	71 37.4	17 8.9	77 40.5	78 41.1	16 8.4	28 14.7	18 9.5	66 34.7	43 22.6	10 5.3
	2. B判定	212 46.4	24 5.3	63 13.8	115 25.2	4 0.9	55 12.0	170 37.2	67 14.7	174 38.1	10 2.2
	不明・無回答	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答者総数	284 43.7	41 6.3	140 21.5	193 29.7	20 3.1	83 12.8	188 28.9	133 20.5	217 33.4	20 3.1

上段：実数（件）  
下段：構成比（%）

問5	問37	利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）									
		11. ケアホーム、福祉ホーム等	12. 重度障害が重複する方が、治療や	13. 公営住宅	14. 老人ホームなどの施設	15. スポーツ施設	16. サークル活動、文化活動などので	17. その他	不明・無回答	回答者総数	
療育手帳の判定	1. A判定	33 17.4	5 2.6	13 6.8	38 20.0	16 8.4	13 6.8	3 1.6	3 1.6	190 100.0	
	2. B判定	48 10.5	2 0.4	28 6.1	74 16.2	65 14.2	78 17.1	25 5.5	15 3.3	457 100.0	
	不明・無回答	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	3 100.0	
	回答者総数	82 12.6	7 1.1	41 6.3	113 17.4	81 12.5	91 14.0	29 4.5	19 2.9	650 100.0	

## (4) 福祉施策への要望

問38 お子さんにとって、今後、特に必要とされるもの、または強く望みたいことがありますか。次のうちから最も近いものを5つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「障害のある人の雇用促進」が60.9%、「障害のある人に理解と関心をもつ」が55.5%、「公的年金等所得保障の充実」が54.0%、「障害状況に応じた職業訓練」が44.9%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「公的年金等所得保障の充実」で13.5ポイント、「障害のある人の雇用促進」で8.9ポイント、「ガイドヘルパー等の充実」で8.1ポイントなどの増加が見られる。

問38 福祉施策への要望〈複数回答5〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
専門的な機能回復訓練	15.6	14.9	12.9
医師等による訪問指導	14.9	15.6	17.2
医療費軽減等	15.1	15.7	20.2
障害者医療等医療制度の拡充	29.2	21.4	24.9
介助体制の充実	26.4	18.9	12.2
金銭管理や福祉サービス利用の支援 *1	—	—	17.2
ガイドヘルパー等の充実	—	21.9	30.0
障害状況に応じた職業訓練	44.3	33.8	44.9
障害のある人の雇用促進	63.3	52.0	60.9
公的年金等所得保障の充実	46.0	40.5	54.0
障害のある人に理解と関心をもつ	67.7	58.7	55.5
各種の相談事業の充実	6.0	5.9	5.1
バリアフリーのまちづくり	28.5	19.1	14.8
スポーツ、文化活動等に参加したい	19.0	15.2	16.8
公共交通機関の利用のしやすさ *2	43.4	26.6	—
障害のある人の権利を守る施策	—	32.6	32.0
家族のリフレッシュ事業	—	33.1	22.0
その他	6.0	5.5	5.7
不明・無回答	4.6	4.5	2.9
合 計	430.0	435.8	449.2
N	569	598	650

\*1 平成18年追加項目

\*2 平成18年は項目から削除

第6章 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

- 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「介助体制の充実」、「ガイドヘルパー等の充実」などの比率が高くなっている。

問5 療育手帳の判定 × 問38 福祉施策への要望（複数回答5）

問38		福祉施策への要望（複数回答5）									
問5		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.
		専門的な機能回復訓練	医師等による訪問指導	医療費軽減等	障害者医療等医療制度の拡充	介助体制の充実	金銭管理や福祉サービス利用の支援	ガイドヘルパー等の充実	障害状況に応じた職業訓練	障害のある人の雇用促進	公的年金等所得保障の充実
療育手帳の判定	1. A判定	22 11.6	25 13.2	14 7.4	34 17.9	47 24.7	30 15.8	95 50.0	82 43.2	117 61.6	111 58.4
	2. B判定	62 33.6	86 45.8	116 60.5	128 67.4	32 16.8	82 43.2	100 52.6	210 111.1	279 147.0	240 126.7
	不明・無回答	0 0.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答者総数	84 44.4	112 59.1	131 69.5	162 86.1	79 41.6	112 59.1	195 103.3	292 156.4	396 210.0	351 187.1

上段：実数（件）  
下段：構成比（%）

問38		福祉施策への要望（複数回答5）										
問5		11.	12.	13.	14.	15.	16.	17.	不明・無回答	回答者総数		
		障害のある人に理解と関心をもつ	各種の相談事業の充実	バリアフリーのまちづくり	スポーツ、文化活動等に参加したい	障害のある人の権利を守る施策	家族のリフレッシュ事業	その他				
療育手帳の判定	1. A判定	114 60.0	2 1.1	36 18.9	25 13.2	70 36.8	52 27.4	8 4.2	5 2.6	190 100.0		
	2. B判定	246 129.0	31 16.3	60 31.6	84 44.2	138 72.1	90 47.4	29 15.2	13 6.8	457 240.0		
	不明・無回答	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.5	3 1.7		
	回答者総数	361 190.0	33 17.3	96 50.5	109 57.4	208 110.0	143 75.3	37 19.5	19 10.0	650 340.0	100.0	